

# 千葉県横断歩道橋長寿命化修繕計画



令和7年8月



千葉県

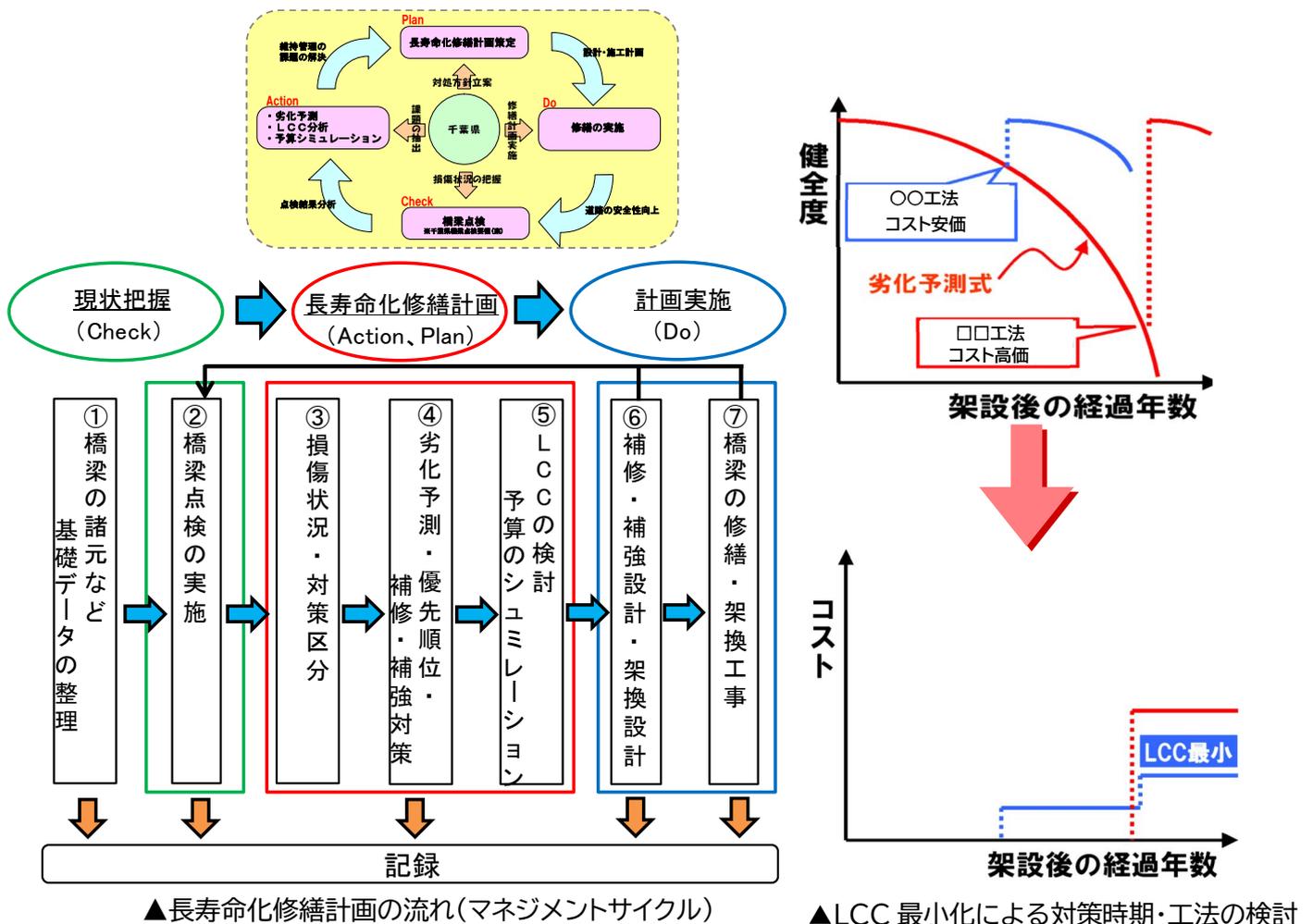
# 横断歩道橋長寿命化修繕計画

## 目的

- ◆ 千葉県が管理する横断歩道橋は、建設後 50 年を経過した高齢化横断歩道橋が今後急速に増えるため、損傷が現れてから大規模な修繕や架換えを行う事後保全的な維持管理を行った場合、維持管理コストが非常に高くなり、適切な予算配分が困難になる可能性があります。
- ◆ そこで、令和2年に千葉県横断歩道橋長寿命化修繕計画を策定し、予防保全的な維持管理を実施してきましたが、さらなる効率的、効果的な維持管理に向けては、新技術の活用や施設の集約化・撤去など、新たな内容にも取り組むことが求められています。
- ◆ 今回の改訂は、令和元年度から5か年で実施した近接目視による定期点検結果が一巡したことを受け新たな取組への検討結果を踏まえて、「千葉県横断歩道橋長寿命化修繕計画」の内容を更新したものです。

## 長寿命化修繕計画策定の流れ

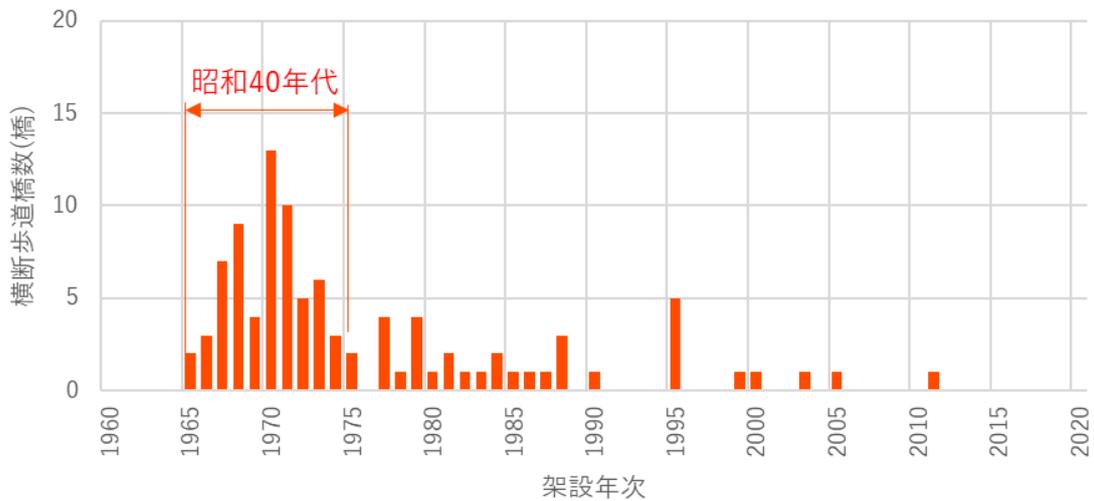
- ◆ 横断歩道橋の点検結果から現状の損傷状況を把握するとともに、将来の劣化進行状況を分析します。
- ◆ LCC(ライフサイクルコスト)の縮減を図るため、望ましい修繕時期及び修繕工法について検討します。
- ◆ 複数のケースにより検討を行い、安全性及び経済性の両面から優れた計画を策定します。
- ◆ 策定した計画に基づいて修繕を実施します。また、定期的に横断歩道橋点検を実施して、一連のサイクルを繰り返します。



# 千葉県横断歩道橋の現状

## 高齢化が進む横断歩道橋

- ◆ 千葉県が管理する横断歩道橋は、令和6年3月時点で97橋あります。
- ◆ 建設から50年以上経過している橋梁は66橋(68%)ですが、今後20年間で92橋(95%)となり、急速に高齢化していきます。
- ◆ 今後、これらの高齢化が一斉に進むことから、集中的に多額の修繕・架換え費用が必要となることが懸念されます。



▲千葉県の建設年次別管理横断歩道橋数



▲横断歩道橋における高齢化の推移

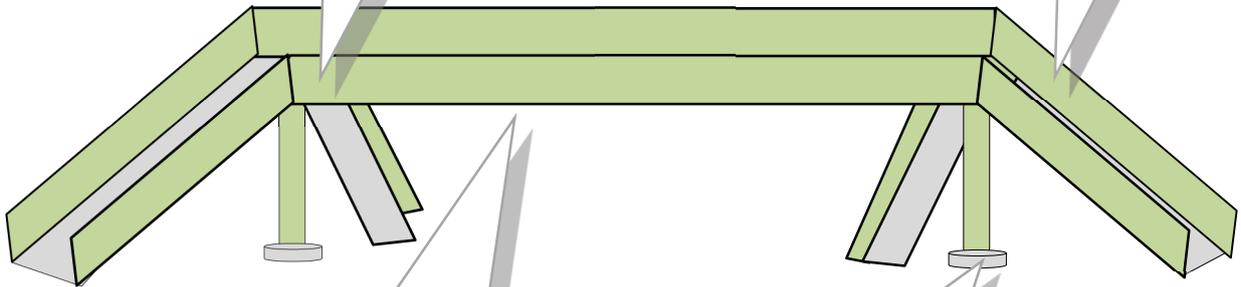
## 損傷事例

- ◆ 千葉県横断歩道橋点検により早期に対策が必要と判断された損傷事例です。

腐食により錆が広範囲に広がっている。



階段蹴上げ部に腐食が見られる。



排水桶に腐食が生じている。



鉄筋の腐食により、ひびわれが発生している。

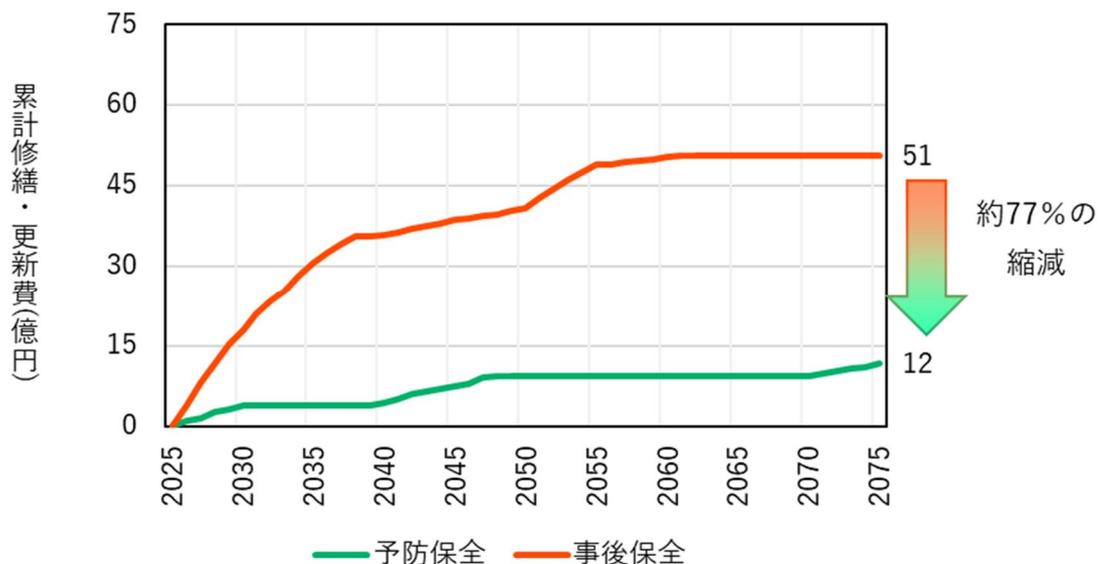
# 今後の維持管理への取り組み

## 短期対策と中長期対策の取り組み

- ◆ 現在損傷が発生している横断歩道橋に対して、損傷が進行する前に、早期に『短期対策』を行います。
- ◆ 今後高齢化する横断歩道橋に対して、将来における維持管理費用の縮減及び平準化を図るため、『中長期対策』として計画的な横断歩道橋の維持管理を行います。

## コスト縮減効果

- ◆ 対象横断歩道橋の 97 橋について、損傷が現われてから大規模な修繕や架換えを行う『事後保全型』と、短期対策と中長期対策を行う『予防保全型』のコスト比較を行いました。
- ◆ 今後 50 年間の維持管理の費用は、事後保全型に対し、予防保全型は約 77%縮減可能となります。



## 予防保全への取り組み

- ◆ これまでに損傷が顕在化する横断歩道橋への対策を計画的に実施し、事後保全から予防保全への転換を進めています。

# 新技術への取り組み

## 新技術適用の目的

- ◆ 維持管理の効率的・効果的な実施を推進していくため、効果の期待できる新技術を活用し、コスト縮減および施設の耐久性等の性能向上の実現を図るべく取り組んでいきます。
- ◆ 新技術の適用としては、定期点検における近接目視点検を補完・代替する画像計測技術の活用や診断の合理化やそれらの支援技術、補修における鋼やコンクリートの新材料や新工法の導入を考えます。

## 取り組み方針・目標

- ◆ 定期点検では、新技術となるロボットカメラ/画像診断等の活用を想定していますが、技術の精度や信頼性等が課題として挙げられており、国内の動向等の実施状況を把握しつつ、試行を図りながら活用に向けて取り組みます
- ◆ 補修では、補修設計において従来工法と新工法との比較検討を実施し、対象施設の利用特性や劣化要因を考慮しつつ、コスト縮減や予防保全への効果等を考慮し最適な対策に取り組みます。
- ◆ 横断歩道橋では、鋼部材の塗装や橋面工(舗装/高欄/排水装置等)での新技術の適用によりのコスト縮減や性能向上、環境負荷低減を目指します。
- ◆ 新技術の活用に関しては、これからの点検・補修時に検討を進め、新技術の最新動向も把握しつつ、各種状況に対し適切に対応・実施していきます。

# 集約化・撤去への取り組み

## 集約化・撤去への対応

- ◆ 国内における道路施設の老朽化に伴い、予防保全型の維持管理による長寿命化を図るのみではなく、道路施設の集約化・撤去に取り組む必要性が高まってきています。
- ◆ 横断歩道橋の今後の維持管理に係る費用や損傷状況とともに利用実態、周辺環境の変化を踏まえ、集約化・撤去なども考慮していきます。
- ◆ 特に横断歩道橋では、施設の状態、利用状況等を踏まえ、撤去を実施しています。今後も利用実態の把握の調査やバリアフリー化の施策などを実施し、撤去を図ることに努めます。



長寿命化修繕計画策定部署及び問い合わせ先

千葉県 県土整備部 道路環境課 企画班

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1 / TEL 043-223-3139

横断歩道橋計画一覧表

No	施設名	路線名	事務所
1	大和田小学校前横断歩道橋	国道296号	千葉
2	大久保歩道橋	県道長沼船橋線	千葉
3	千葉工大前横断歩道橋	県道津田沼停車場線	千葉
4	八幡2丁目歩道橋	国道14号	葛南
5	宮本町3丁目歩道橋	国道14号	葛南
6	行徳小歩道橋	県道市川浦安線	葛南
7	七中歩道橋	県道市川浦安線	葛南
8	浦安駅前歩道橋	県道浦安停車場線	葛南
9	愛宕駅前歩道橋	県道つくば野田線	東葛飾
10	中野台歩道橋	県道つくば野田線	東葛飾
11	南歩道橋	県道松戸野田線	東葛飾
12	流山8丁目歩道橋	県道松戸野田線	東葛飾
13	高塚新田歩道橋	県道松戸原木線	東葛飾
14	高野台歩道橋	県道我孫子関宿線	柏
15	高岡東歩道橋	県道成田下総線	成田
16	高岡西歩道橋	県道成田下総線	成田
17	若宮歩道橋	国道126号	銚子
18	小野歩道橋	国道126号	山武
19	小佐部歩道橋	国道128号	夷隅
20	和泉歩道橋	国道128号	夷隅
21	行川歩道橋	国道465号	夷隅
22	江見歩道橋	国道128号	安房
23	新宿歩道橋	県道木更津富津線	君津
24	村上歩道橋	国道297号	市原
25	湿津小前歩道橋	県道千葉茂原線	市原
26	砂子歩道橋	県道千葉鴨川線	市原
27	市原IC第1横断歩道橋	国道297号	市原
28	市原IC第2横断歩道橋	国道297号	市原
29	市原IC第3横断歩道橋	国道297号	市原